

令和7年度 総務市民局X方針(概要)について

■ 組織の使命

区役所窓口サービスの向上や各区の個性が生かせるよう組織横断的に下支えするとともに、地域でのコミュニティ活動や生涯学習活動など市民が社会に参加し、安全・安心で安らぐまちづくりを進める。また、基本構想・計画や市政変革推進プランを推し進めるため、変革マインドを持った職員を育成し、やりがいを持ちながら安心して働ける人事給与制度、簡素で効率的な組織体制を確立する。

■ 総務市民局X方針について

課題領域	Aレベル	Bレベル	Cレベル
課題数	2件	7件	2件
政策分野	働き方改革、市民活動	地域振興、安全安心等	庁舎管理、生涯学習

【主な課題・取組内容】

・課題A フレックスタイム制本格導入(資料1のP3)

職員のワークライフバランスの実現や公務能率の向上、多様で有為な人材を確保するため、働き方の改革が必要であり、令和7年1月から試行実施しているフレックスタイム制の本格導入に向け検討を進める。

・課題B 地域団体(自治会等)が外部の力を活用できる体制の構築(資料1の P10)

自治会等の担い手不足や役員の固定化により、活動の継続性に課題を抱えているため、地域が外部の力、ノウハウを活用したい分野の把握や、協力企業・団体の発掘を行い、外部を活用する仕組み、環境づくりを行う。

・課題B 区政強化のための新たなスキームの検討(資料1のP14)

区役所が効果的に独自の事業を関係局と効率的に調整するスキームを構築するとともに、各区の特色とポテンシャルを活かした事業を実施するため弾力的な予算が編成できるよう、財政・変革局と協議する。

・課題B 客引き行為への対策(資料1の P17)

市民や観光客の安全かつ快適な通行を阻害するとともに、都市のイメージやナイトタイムエコノミーの取組効果を低下させる悪質な客引き行為について、禁止区域の追加指定や適正化への新たな取組を検討する。

・課題C 市民活動拠点施設として相応しい生涯学習センターのあり方検討(資料1の P19)

生涯学習事業を推進していく体制や生涯学習センターの本質的なあり方について議論が必要であり、職員配置、機能面の拡充の必要性等について整理し検討する。